

December 15, 2009

JAWIC

Seattle News

ウェアハウザー社、REITになることを決定

ウェアハウザー社（本社ワシントン州フェデラルウェイ市）は、この数年間、株主から REIT（Real Estate Investment Trust, 不動産投資信託）になることを求められてきたが、早ければ 2010 年内にも REIT に転換することを役員会で決定。

REIT になれば収益の 90%以上を配当として支払い、かつ 15%の低率課税（通常の企業であれば 35%）であるので、株主にとってはメリットが大きい。REIT になるための要件は総資産額に占める不動産の割合が 75%以上であり、かつ、粗収入の 75%以上が不動産部門からもたらされることであるため、ウェアハウザー社は近年、パッケージング部門、エンジニアドウッド部門、流通センターなどの売却を進めてきており、2010 年にも幾つかの加工工場を売却して要件をクリアするものと考えられる。

ウェアハウザー社が REIT になれば、垂直統合型の大規模林産企業は姿を消すことになる。なお、同社の米国内の社有林面積は約 230 万 ha で、第 1 位はプラムクリーク社（本社シアトル市）の約 300 万 ha である。

今回のニュースを受けてもウェアハウザー株価に大きな動きはなく、市場はすでにこれを見込んで 7 月以降徐々に上昇してきたものと考えられる。